

PPP・PFI簡易定量評価表

令和3年1月12日作成

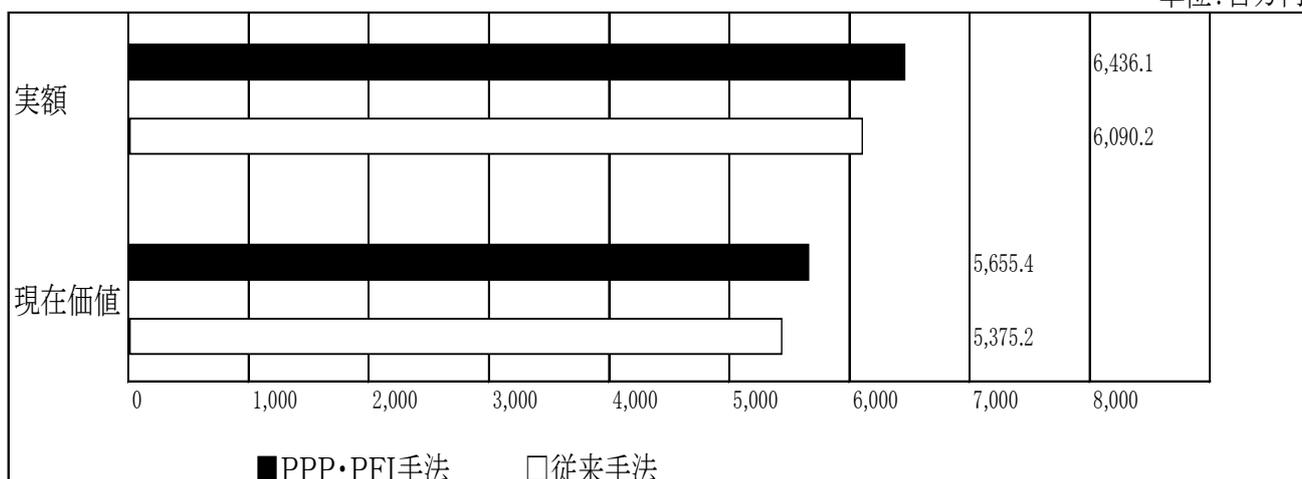
○事業手法の比較検討の前提条件 【事業期間20年 落札率92.4%】

担当部局課室名		教育庁生涯学習課		
事業の名称		宮城県美術館リニューアル事業（新規・改修・運営権）		
事業の目的		「宮城県美術館リニューアル基本構想」「宮城県美術館リニューアル基本方針」及び仙台医療センター跡地における県有施設再編に係る検討の結果を踏まえ、老朽化への対応、展示環境の整備及び収蔵庫の拡充、教育普及機能や交流機能の充実、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応等を図るため、現地にて増築を伴わないリニューアル改修工事を実施するもの。		
予定地		仙台市青葉区川内元支倉34-1		
		従来型手法の費用等	PPP・PFI手法の費用等 (RO方式)	
前提条件等	事業期間	設計・建設	5年	5年
		維持管理	15年	15年
	施設面積 (㎡)	本館	12,129.71㎡	12,129.71㎡
		佐藤忠良記念館 (設計・建設を除く)	2,990.10㎡	2,990.10㎡
		計	15,119.81㎡	15,119.81㎡
整備等（運営等を除く。）費用		2,771.8百万円	2,615.0百万円	
<算出根拠>		「仙台医療センター跡地における県有施設の再編に向けた基本構想策定支援業務」において積算した設計費、工事費、工事監理費を元に算出 ※落札率92.4%を適用		従来型手法より18.0%削減した額に整備に係る諸経費を加算したもの
運営等費用		3,344.2百万円	3,260.1百万円	
<算出根拠>		宮城県美術館の実績等を元に算出		従来型手法より7.0%削減した額にSPC運営費用を加算したもの
利用料金収入		92.8百万円	92.8百万円	
<算出根拠>		宮城県美術館の実績等を元に算出		従来型手法と同額を計上
資金調達費用		67.0百万円	446.6百万円	
<資金調達算出根拠>	自己資金 (一般財源)		277.2百万円	63.4百万円
	起債		2494.6百万円	
		利率, 償還方法等	金利 0.3% 償還期間 15年 支払方法等 元利均等償還	
	補助金		—	—
	市中銀行借入			2,659.6百万円
		利率, 償還方法等		金利 1.9% 償還期間 15年 支払方法等 元利均等償還 建中金利 3.9%

調査等費用	—	60.0百万円
<算出根拠>	従来型手法の場合は想定せず	導入可能性（アドバイザー） 調査等の費用及びその後の業務 委託の費用の想定
税金	—	35.9百万円
<算出根拠>	従来型手法の場合は想定せず	各年度の損益に法人実効税率 33.58%を乗じて算出
税引後損益	—	111.3百万円
<算出根拠>	従来型手法の場合は想定せず	EIRRが5%以上確保されることを 想定
合計	6,090.2百万円	6,436.1百万円
合計（現在価値）	5,375.2百万円	5,655.4百万円
財政支出削減額（削減率）		▲280.2百万円 （▲5.2%）
割引率	1.1%	1.1%

●県の財政負担額

単位：百万円



PPP・PFI簡易定量評価表

令和3年1月12日作成

○事業手法の比較検討の前提条件 【事業期間20年 落札率100%】

担当部局課室名		教育庁生涯学習課		
事業の名称		宮城県美術館リニューアル事業（新規・改修・運営権）		
事業の目的		「宮城県美術館リニューアル基本構想」「宮城県美術館リニューアル基本方針」及び仙台医療センター跡地における県有施設再編に係る検討の結果を踏まえ、老朽化への対応、展示環境の整備及び収蔵庫の拡充、教育普及機能や交流機能の充実、バリアフリーやユニバーサルデザインへの対応等を図るため、現地にて増築を伴わないリニューアル改修工事を実施するもの。		
予定地		仙台市青葉区川内元支倉34-1		
		従来型手法の費用等	PPP・PFI手法の費用等 (RO方式)	
前提条件等	事業期間	設計・建設	5年	5年
		維持管理	15年	15年
	施設面積 (㎡)	本館	12,129.71㎡	12,129.71㎡
		佐藤忠良記念館 (設計・建設を除く)	2,990.10㎡	2,990.10㎡
		計	15,119.81㎡	15,119.81㎡
整備等（運営等を除く。）費用		2,999.8百万円	2,615.0百万円	
<算出根拠>		「仙台医療センター跡地における県有施設の再編に向けた基本構想策定支援業務」において積算した設計費、工事費、工事監理費を元に算出		従来型手法より18.0%削減した額に整備に係る諸経費を加算したもの
運営等費用		3,344.2百万円	3,260.1百万円	
<算出根拠>		宮城県美術館の実績等を元に算出		従来型手法より7.0%削減した額にSPC運営費用を加算したもの
利用料金収入		92.8百万円	92.8百万円	
<算出根拠>		宮城県美術館の実績等を元に算出		従来型手法と同額を計上
資金調達費用		72.5百万円	446.6百万円	
<資金調達算出根拠>	自己資金 (一般財源)		300.0百万円	63.4百万円
	起債		2699.8百万円	
		利率, 償還方法等	金利 0.3% 償還期間 15年 支払方法等 元利均等償還	
	補助金		—	—
	市中銀行借入			2,659.6百万円
		利率, 償還方法等		金利 1.9% 償還期間 15年 支払方法等 元利均等償還 建中金利 3.9%

調査等費用	—	60.0百万円
<算出根拠>	従来型手法の場合は想定せず	導入可能性（アドバイザー） 調査等の費用及びその後の業務 委託の費用の想定
税金	—	35.9百万円
<算出根拠>	従来型手法の場合は想定せず	各年度の損益に法人実効税率 33.58%を乗じて算出
税引後損益	—	111.3百万円
<算出根拠>	従来型手法の場合は想定せず	EIRRが5%以上確保されることを 想定
合計	6,323.7百万円	6,436.1百万円
合計（現在価値）	5,582.6百万円	5,655.4百万円
財政支出削減額（削減率）		▲72.8百万円 （▲1.3%）
割引率	1.1%	1.1%

●県の財政負担額

単位：百万円

